

# 校内研究だよ!

町田市立金井小学校  
2018年9月20日  
研究推進部

第4回ミニミニ講座 講師 鈴木 悠子先生

## 『音楽の常時活動～低学年～』

☆日にち・・・9月21日(金)

☆時間・・・16:30～16:45

☆場所・・・音楽室



低学年で育てたい力＝拍感を、常時活動として・・・授業の導入へのヒントになったらと思います。みなさんで手拍子リレーをします!

現在、低学年をおもちの先生も、これからもちたい先生も、拍感を身に付けたい先生も、ぜひぜひご参加くださいね。

次回「第5回ミニミニ講座」は、  
11月2日(金)窪田先生による『体づくり運動』  
です。お楽しみに!!



上手く表現できない子供、関係が上手く築けない子供に対しての話の聞き方

相手が話した「事実」を繰り返したり、話の中に出てきた「感情」を繰り返したり、相手の話が少し長くなったら、話を要約して、反復すると効果的である。



「自分の話を聞いてもらえている」・・・安心感  
「自分のことを理解してくれている」・・・信頼感  
「大事にしてもらえている」・・・充実感

### 子供のタイプ別

相手の問題や課題を理解するためのタイプ別対応

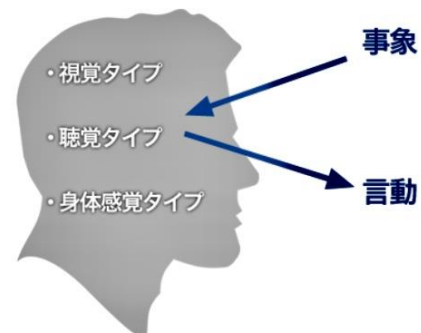
#### 【視覚タイプ】の特徴

話をするとき、視線が上方に向く傾向で早口頭の中にあるイメージを手で表そうとする。

「ビジョン」「イメージ」など視覚に関連する言葉をつかう。

**リーディングする際は、図や絵を活用していくと効果的。**

#### 五感のタイプ



#### 【聴覚タイプ】の特徴

話をするとき、目を左右によく動かす傾向の子。言葉を大切にし、自問自答したり、独り言をいったりする。声の調子や言葉に反応しやすく、記憶を思い出す時、「あの時、確かに こう言った」と聴覚的な情報を引き金にする。

「ええ~」「ああ~」という非言語や「バタバタと忙しい」といった擬音語を使う傾向。

**リーディングする際は、話の内容が論理的になっているのがポイント。**

#### 【身体感覚タイプ】の特徴

話をするとき、目を下方に動かす傾向の子。1動きや話すスピードはゆっくりしている。「心が熱くなる」「一体感を固く感じる」など、身体感覚にまつわる表現を用いる。手を胸に当てたりするといった体の感覚を手で表現しようとする傾向がある。一つのことをじっくり味わうことを好む。

**リーディングの際には、一つ一つゆっくりと進めていくのがポイント。**